



「た」と語り「ゲームみたいに」

の部活動仲間、会社の同僚などで結成されたチームが集まつた。

6日午前10時、ルール説明などの後、3分間の作戦会議をしてスタート。走ることは禁止されているため徒歩でごみの落ちていそうな場所に向かつた。

公園横の海沿いに進んだのは、家族で参加した小学5年の定別當いろはさん(11)と一騎君(11)。流木などと一緒に落ちている花火のごみなどを拾つた。2人は「自動販売機の近くに栄養ドリンクの瓶とかがたくさん捨ててあ

日本財団が企画し、海洋ごみの削減などに取り組む「海と日本プロジェクト・CHANGE FOR THE BLUE」の一環として開催。世界約20カ国で予選が開かれており、11月に東京都で本大会が開かれる。

2008年に日本で生まれたスポーツ。チームに分かれて制限時間内に拾つたごみの種類や量で得点を競う。誰でも参加でき、県大会こは現子や大学

ごみ拾いをスポーツにした新たな競技「SpoGOMI（スポゴミ）」ワールドカップの県大会が、西宮市西宮浜3の西宮浜総合公園周辺で開催された。29チームの計約90人が参加。汗だくになりながら、海辺に打ち上げられたプラスチックごみや道路脇に捨てられたたばこの吸殻などを熱心に拾い集め、量や種類を競い合つた。

み拾いをスポーツ化の競技 県大会

29チーム美化へ汗だく

西宮浜総合公園周辺

映像制作会社のチーム優勝 「作戦考えたが、拾うことに夢中」

A photograph showing three men in blue shirts and hats standing outdoors. The man on the left wears a white vest over a blue shirt with 'SPCOI WORLD' and a logo. The man in the center wears a blue shirt with 'FURUNO' printed on it. The man on the right wears a blue shirt with 'FURUNO' and a brown hat. They are all looking down at a white document or map held by the man in the center. In the background, there are trees, buildings, and other people.

10

優勝を目指して作戦会議
「拾うのが面白かったし、海を守れたらと思う」と笑顔を見せた。

一方、高速道路の高架下に目を付けたのは、映像制作会社の部下と参加した近清将希社長(26)。たばこの吸い殻は他のごみよりもポイントが高いため、高架下の側溝にたまつた吸い殻を地面に膝を着けて必死に集めた。

脱ぎ捨てられた服や園芸用の支柱など、街中に捨てられた多くのごみを見て「こんなにもごみがあるのか」「なんでこんなものまで捨てるんや」などと話し合いながら進むチームもあつた。

1時間の制限時間を終えて集まつたごみは計約107kg。9・98kgを集めた近清さんのチームが優勝した。近清さんたちは仕事や日常生活を通じてごみの多さが気になつて大会に参加したといい「作戦も考えていたが、気付いたら拾うこと夢中になつていた」と話した。

優勝チームは10月9日、東京都で開かれる全国大会に出場し、世界大会を目指す。



大会後に集まつたごみ